

県民の森 花ごよみ 11月号

～今月はこんな実が見られます～



落葉低木。枝や葉がほとんど無毛のムラサキシキブに対し、本種は肉眼でも見えるほど毛が多い。本州（宮城県以南）～九州に分布する。
〈シソ科〉

ヤブムラサキ



ヤマノイモに似るが、種子は楕円形で片側にだけ翼が発達するのが特徴。根茎は長寿を祈る正月の飾りに使われるが、苦みが強く食べられない。雌雄異株。
〈ヤマノイモ科〉

オニドコロ



山野にふつうに生えるつる性の多年草。名はサトイモ（里芋）に対する。種子は円形の翼をもっており、熟すとふちの針金のようなため金のはじけて裂ける。雌雄異株。別名：ジネンジョ
〈ヤマノイモ科〉

ヤマノイモ



山地の日陰を好み分布している常緑低木。地下茎を伸ばして繁殖し、ときに大群落をつくることある。昔から多くの園芸品種が知られている。
〈サクラソウ科〉

ムラサキシキブ



紅葉ポイント
（コリノキ、モミジバフウなど）

ヤブコウジ

桜山

第二広場

紅葉ポイント
（メタセコイア）



ツルリンドウ

（点在している）長さ40～80cmになるつる性の多年草。つるは紫色を帯びる。果実の頂には花柱が残っている。
〈リンドウ科〉

植物園

駐車場

ガマスミ



落葉低木。果実は卵形で長さ6～6mmの大きさに熟すと甘酸っぱい。霜に2～3回あつると甘くなる。小鳥や猿が喜んで食べる。
〈レンブクソウ科〉

紅葉ポイント

第一広場

ヤブコウジ

交歓広場

紅葉ポイント
（イチヨウ、モミジバフウ、カエデ類）

ムラサキシキブ



落葉低木。名は、美しい紫色の果実を紫式部にたとえたという説がある。葉が落ちたあとも、果実は枝に長く残っている。日本全土に分布する。

ガマスミ

● トイレ

→ モデルコース：歩いて約90分

0 100m



ヒサカキ 左：雌株（果実） 右：雄株（花芽）

常緑の低木～小高木。関東地方ではサカキの代用として、枝葉を神事に使う。果実はメジロ、ツグミ、ヒヨドリが好んで食べる。雌雄異株。
〈サカキ科〉